



自閉症の人は、通常の環境や人とのかかわりの中で、大変な不安やストレスを感じています！

自閉症の人が感じる不安やストレスは、主に右に書いてあるようなことです。不安やストレスレベルが高いと、身体を揺らし始めたり、ぴよんぴよん跳んだり、ひとり言をつぶやいたり、じっとしていられなくなって部屋をとび出したり、活動に集中できなくなります。さらにそれが高まると、自分の頭を叩いたり、大声を出したり、物を壊したり、人を叩いたりするようになります。

自閉症の人の不安や混乱

- ◆周囲の刺激や状況に混乱したり不快になる
- ◆急な予定の変化や新しい予定に不安になる
- ◆活動の終わりや見通しが持てないと不安になる
- ◆活動のやり方がわからなくて混乱し不安になる
- ◆言語の障害のためにうまく気持ちを伝えられない
- ◆行動の意味がわからなくて行動を変えられない
- ◆人前でのふるまい方がわからなくて困惑する

アメリカの高機能自閉症者であるグランディンさんは、「私は、言語よりも絵や写真で考えている」と述べていますが、自閉症の人は聞いて理解するよりも、見て理解することが得意です。そこで、自閉症の人に対する視覚的支援、環境の構造化（TEACCH など）、視覚的なコミュニケーション法（絵カードコミュニケーションなど）が世界的になっています。しかし、それらはバラバラに広まって、まとまりがありません。実際にどのように指導し、取り組んだらいいのかもわかりません。

不安を減らす7つ道具

- 1 部屋の環境調整
- 2 予定や変更の見える化
- 3 活動の終わりの見える化
- 4 活動のやり方の見える化
- 5 コミュニケーションの見える化
- 6 行動の結果の見える化
- 7 ルールの見える化

そこで私たちは、自閉症の人の不安やストレスを減らし、環境に適応しやすくなるための視覚的支援方略を7つにまとめた「7つ道具」を開発しました。このセミナーでは、まず自閉症スペクトラムの人が、人とかわる上で不安やストレスを感じていることに基づいて、なるべく不快な状況を減らし、わかりやすい情報提示の仕方をご紹介します。次に気持ちを表現することが難しいことから、視覚的な代替コミュニケーションの指導方法をお伝えします。最後に行動の切り替えや、人前でのふるまい方についての理解を促す方法を話します。実際に7つ道具の教材を使いながら指導のやり方を実演し、受講者同士で練習して楽しく学ぶことができます。

知的に遅れのある自閉症児・者の支援者が対象で、放課後等デイサービス、児童発達支援、成人施設の職員、発達障害の病院の療育職員、特別支援学校・学級の教員、保護者の方に最適です。

自閉症の人の不安やストレスを減らす7つ道具セミナー

と き：令和1年11月24日(日) 講師：今本 繁
10:30～16:30(受付 10:15) 定員：30名
会場：グランデ会議室 参加費：10,000 円(税込み)
主催：合同会社 ABC 研究所

お申し込みや割引については裏面をご覧ください

参加申込書(締切 11 月 22 日)



FAX 番号 093-330-4239

または必要事項を書いて E メール: mayfukuda19@gmail.com

ふりがな			
お名前	ご職業(○をつけてください) 保護者 教員 保育士 ST 心理士 医師 施設職員 その他()		
ご連絡先	FAX または E メール:		
ご所属先	どこでこのセミナー を知りましたか?	HP・チラシ・知人・職場の案内 その他()	
※備考欄(複数名でご参加の場合、その他の参加者のお名前をご記入ください)			

※いただきました個人情報(ABC 研究所の運営のみに使用し、法律に基づき適正に管理いたします。

【お申し込み・お問い合わせ先】 合同会社ABC研究所 担当:福田 ウェブ: www.abclab15.com E メール: mayfukuda19@gmail.com TEL: 093-287-7662	QR コードでのお申し込み 
---	---

参加費割引があります。申し込み時に、余白や備考欄にご記入ください!

早期申込割引	10 月 22 日までにお申し込みいただくと 1000 円 割引いたします!(基礎と応用は別々で適用)
お連様紹介割引	ご一緒にお申し込みされる人が 1 人、2 人、3 人と増える毎に割引額が 500 円 ずつアップ!(7 人まで)
半額対象者 ほかの割引との併用はできません	当事者、保護者、現在ABC研究所のコンサルを受けている施設の職員の申し込みは半額です。

※受講者には、レジメ資料が付いています。関連する教材や書籍の販売もしています。



会場:

グランデ会議室

大阪市東淀川区東中島 1-19-11

◎アクセス:

JR 新大阪駅 東口から徒歩 5 分

過去の受講者の感想:「してほしくない行動ばかり注意していたが、逆効果なことがわかり、して欲しいことを伝えようと思う(支援学校教員)」、「今まで受けた ABA の研修の中で一番わかりやすかった(心理士)」、「先行事象、後続事象など初めて聞く言葉で最初は分かりにくかったが、丁寧に教えて頂き理解できた(保護者)」、「場当たりのなやり方ではなく、1 つ 1 つの行動を観察し分析することで、よりの確で適切な支援が構築できるようになると思う(放課後デイサービス職員)」